





身につけた技術と知識で現代アートを蘇らせる。 美術史・文化財保存修復学科 4 年 石井千裕/宮城加奈子

芸工大の文化財保存修復研究センターでは美術館などから依頼を受け、美術作品の修復を行っています。本年度、美術史・文化財保存修復学科を卒業する石井千裕さんと宮城加奈子さんが卒業研究として手がけているのは、青森県立美術館から依頼された『とある玩具店のショーウィンドケース』シリーズの二作品。絵具の剥離止め、埃やカビの除去、アルミフレームでの構造強化など、修復には様々な技術と知識が必要とされます。また、この作品には本物の水道の蛇口やめざしの干物などが使用されていて、作品への理解と配慮ある修復が進められています。

「g*g」とは?

芸工大広報誌のタイトルは「8*8」。最初の「8」は芸工大の8であり、もう一つの「8」は芸術市民の8。文化的志向を持つ皆さんを「芸術市民」と名付けました。あの絵が好き! このデザインかっこいい! 景観がきれい! こんな風に日常の中で感動できる人は立派な芸術市民。そんな芸術市民のみなさんと芸工大が、「十」より強い「★」で結ばれることで、新しい何かを創り上げていきたい、そんな思いを込めて「8*8」、親しみを込めて「ジー・ジー」と呼んでください。広報室では、「8*8」を置いていただけるショップやギャラリーなどを随時募集中です。

東北芸術工科大学

②芸術学部 文芸学科(2011年4月新設) 美術史·文化財保存修復学科 歴史遺産学科 美術科[総合美術/日本画/洋画/版画/彫刻/ 工芸(漆芸・陶芸・金工)/テキスタイル] ②デザイン工学部 企画構想学科

プロダクトデザイン学科 建築・環境デザイン学科 グラフィックデザイン学科 映像学科

メディア・コンテンツデザイン学科

○大学院芸術工学研究科博士後期課程 芸術工学専攻修士課程[芸術文化専攻/デザイン工学専攻/デザイン工学専攻 仙台スクール]

総合研究センター/東北文化研究センター/文化 財保存修復研究センター/こども芸術教育研究セ ンター/デザイン哲学研究所/東アジア芸術文化 研究所/社会芸術総合研究所

大学周辺略図

◎研究機関



東北芸術工科大学広報誌 **g*****g**

2011年1月14日発行 発行:学校法人東北芸術工科大学 〒990-9530 山形県山形市上桜田3-4-5 東北芸術工科大学広報室 TEL:023-627-2246 FAX:023-627-2185 WEB:www.tuad.ac.jp E-mail:hello-gg@aga.tuad.ac.jp Design:FLOT Printing:Tamiya Printing co.,ltd.

ⓒ東北芸術工科大学 Printed in Japan 2011



芸工大 サスティナブル *

「サスティナブルデザイン」って?芸工大が生み出す相関図。

新聞やテレビなどでも最近度々耳にする、これからの世界のために欠かせないと言われる「サスティナブル」という考え方は、 ものづくりにも密接に関わっています。『持続可能な』と訳されるこの言葉ですが、その本質は人と環境との発展と調和を保つこと。 芸工大でもこの考え方と結びついた多くのプロジェクトを通じて、これから求められる人材の育成を目指しています。今回は、その活動を紹介しながら、 「環境保全」「社会関係」「地域活動」の3つの視点を軸に、そもそもサスティナブルとは何なのか、そしてデザインとのつながりを考えてみました。



Environment 環境保全

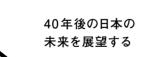
「大量消費型社会」から「循環型社会」へ 意識を転換していくこと。

4R (リサイクル・リユース・リデュース・リフューズ) で表さ れるように、社会は循環型に変化する必要があります。環境 負荷を減らす実質的なプロジェクトや、CO₂削減の意識向上 に対する働きかけなど、様々な取り組みを行なっています。



絶滅するものから 考える、デザインの解。

TOKYO DESIGNERS WEEK 2010 最新のデザインを紹介するこのイベン トに、本学のプロダクトデザイン学科 の学生が出展しました。今回与えられ たテーマは「暮らしの中の絶滅危惧種」。



『日本のカタチ 2050』 2050年には少子高齢化を迎える 日本の、建築やランドスケープと いった分野の仕事の変化に応じた、 市民が関わる環境づくりを提案。

公共的な事業への住民 参加の一例で、公園の整 備と管理をするパークレ ンジャーなどがあります。 山崎亮氏

幸せの閾値を下げる一日

過剰な電飾に囲まれる生活の中で、

少しの時間消灯し、キャンドルの灯

火を囲んで人とのつながりや環境

を大切に感じる時間を過ごします。

『キャンドルナイト』



地球の真の財産である

生物の多様性こそが私たちの宝

物であり、それを活かした産業行

動が最大の地球貢献になるので

は、という可能性を示しました。

'生物多様性とデザイン』

実際に手が届くエコな住宅

高断熱・高気密、再生可能エネル

ギーを使用したエコハウスの廉価

版。様々なアイデアが、環境に優し

い快適な暮しの実現へと導きます。

『蔵王オルタナハウス』

植松豊行 Uematsu Toyoyuki [デザイン哲学研究所教授]

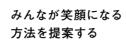
1948年生まれ、香川県出身。 武蔵野美術大 学造形学部産業デザイン学科卒業。1971 年松下電器産業株式会社入社。2002年 にパナソニックデザイン社社長に就任し、 在任中にブランドの確立と松下産業株式 会社のV字回復に貢献。日本におけるサ スティナブルデザインの第一人者。

世界は今、人口増加や地球温暖化、環境破壊など多くの問題を抱えており、私 たちはいかに環境負荷を減らしながら、人として地球上で快適な生き方がで きるかを考えていかなければなりません。例えば、温室効果ガスを80%削減 する社会システムや、新しい雇用を生む産業の創出などが差し迫った課題と なっています。それらの解決のために必要なのが、「人と環境が発展しながら 調和する」というサスティナブルな考え方です。そして、その考えを基に創造し ていける人材も必要とされています。今年は山形でサステナブルデザイン国 際会議も開かれますので、ぜひ一緒に考えて欲しいテーマです。



考える人材を育てる

『サスティナブルデザインコンペ』 社会のしくみやライフスタイルにつ いて、幅広い学生のアイデアを募 集しています。優秀作品はサステナ ブルデザイン国際会議での紹介も。



『デザセン2010』 全国の高校生を対象に人や社会 を幸せにするためのデザインを募 集し、社会に関わるデザインを考 える機会を設けています。



サステナブル国際会議』 新しい価値観に基づいた生 き方を模索する、第5回サス テナブルデザイン国際会議 が、2011年2月26日、27日 に本学で開催されます。



を身近に感じることがで きる携帯電話のアプリ

ケーションを提案しました。 優勝 有田工業高校

Community

地域に新たな価値を見いだし、

継続的な取り組みをすること。

を中心に様々な活動を展開しています。

tet教主任重力

地産地消、地域文化の継承やコミュニティの育成など、地域

ぐるみでライフスタイルを大きく循環させていくことが、サス

ティナブルな社会づくりへとつながります。芸工大でも山形

『リアカーやおや』

今年からサークルになったリアカー

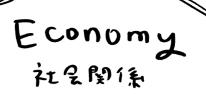
の「やおや」は、地元の農家と提携

して、規格外野菜を安価で地域の

人に提供している在学生のグルー

プ。地産地消や食料問題にも、芸工

大ならではの視点で関わっています。



社会を構築する人材を育成することが、 大きな力となります。

私たちの意識を変え、サスティナブルな知恵や技術を生 み出し、社会経済を動かしていくためには、誰もが学べる 環境が必要です。これからの社会で進むべき方向を示す 「サスティナブルな意識」に価値を見いだし、創造できる 人:エコクリエイターとしての人材創出に取組んでいます。



子どもの成長を見つめ、 対話のある教育を

『こども芸術大学』 3歳から小学校入学前までの子ど もと母親を対象とした、幼児教育 機関。芸工大の学生とのワーク ショップや母親の授業参加などで、 感受性豊かな子どもの育成を重視 しています。



仕事に役立つと思い受 講しましたが、自分の視 野が広がったことが大 きな収穫となりました。 受講生 立花淳子さん

大人も学び続ける 生涯学習形態

『生涯学習プログラム』 誰もがいつでもアートや文化に触 れ、生涯を通じて生活を豊かに感 じられるような、学びのプログラム を数多く用意しています。



地方と都市をつなぐ学舎

本学がある山形と姉妹校の京都造



『東京 外苑キャンパス』

形芸術大がある京都を結び、新た な文化の発信拠点として社会人向 けの講座のほか、研究成果の発表 会やシンポジウムも開催。



東北独自の町作りの提言

『東北のサスティナブルタウン のための10の提言| 建築・環境デザイン学科では、環 境問題に対して地域に根ざした解 答で、サスティナブルタウンの実 現に向けて取り組んでいます。



http://gs.tuad.ac.jp/st10/



激を受けた地元の若者 達が、今年は自ら絵灯ろ う作りにも挑戦しました。 肘折温泉 柿崎雄一さん

学生たちの頑張りに刺

過疎地域に 学生ができること

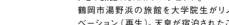
『ひじおりの灯プロジェクト』 肘折温泉の湯治文化を100年後に継 承するために、2007年からオリジナ ル灯籠の展示会を毎年行い、着実に 地域文化として根ざし始めています。



利用した町おこし

『雪旅籠の灯り』 宿場町だった志津温泉の旅籠を自 然に降り積もった雪を削って再現し、 自然条件を活かしながら、雪深い地

域の魅力を伝えています。



の

く使える、変えられる」を基本コン

セプトとする「無印良品の家」と協

同で、これからの日本のエコな木

造住宅のあり方を研究します。

『亀や旅館 HORAI プロジェクト』 鶴岡市湯野浜の旅館を大学院生がリノ ベーション (再生)。天皇が宿泊されたこ ともある大きな客室を、さらに特別な空間 へ生まれ変わらせます。曲面が印象的な インテリアで、2011年4月の完成を目指

水平線の見える温泉宿を提案



家賃0円計画の

山形に古くからある飲屋街、花

小路の一角をリノベーションし、

住人である学生が特技やスキル

をシェアして仕事に繋げる試み。

学生アパート

『花小路トランク』

花小路

ンクなどは住人が自発的 に動き情報発信をすると いう現象が起きています。 馬場正尊准教授

サスティナつ"ル

人間の希望を次の世代へと引継ぐために、今できることをする。

豊かな地球環境も私たちの暮しも、両方守れるものを生み出せる

「人と環境が発展しながら調和する」

社会をつくっていくということ。

人材が求められています。



市街地の空きビルの

『山形 R 不動産リミテッド』 山形に点在する市街地の建物に、 様々な使い方やデザイン、ライフ スタイルを提案し、ビジネスや活



提携している農家の方にも喜ん で頂いています。地元の農家さ んや在学生など、より多くの人に 関わってもらえるようにしたいです。 総合美術2年 粟野晴香さん

性化手法の発見に繋げています。



WEB マークがついている部分は、http://gs.tuad.ac.jp/gg/ にて詳細をご覧いただけます。

学生、企業、専門家、様々な分野や立場から 取り組まれている、サスティナブルデザイン。

人と環境が発展しながら調和するというサスティナブルな考え方は、これからのものづくりにも不可欠なこと。 そのサスティナブルデザインという視点で、世界中のものづくりに新しい動きが生まれています。 ここでは、前ページに登場した芸工大が取組むプロジェクトの中から、ものづくりの例をいくつかピックアップ。 その詳細を具体的に紹介していきます。





「環境 × デザイン」 というテーマで開催された〈東京デザイナーズウィーク 2010〉。 本学ではプロダクトデザイン学科の学生が『暮らしの中の絶滅危惧種』を考え、独創的な作品を発表しました。







円形の台座に白い砂を敷き詰めた『スナバタ』。「絶滅危惧 種」を、大人になると失われつつある「砂場で遊ぶようなリ ラックスした時間」「砂場のような知らない者同士がたむろ う空間」と捉えた作品。腰かけながら隣り合ったり向かい合 ったり、訪れた人が和やかに輪になる空間を創出しました。



『wasted wood~消費される森林~』 学生筻蛋筻!

木の形をしたお香に火を点け、香りを楽しんでいるうちに 形が崩れ灰になっていく過程が、現在進行している森林 減少を表現しています。「日常生活ではあまり感じること のない環境問題について考えるきっかけになれば」という 坂西さん。漂う香りとともに考える時間を与える作品です。





[stamp] 斉藤翔太 Saito Shota プロダクトデザイン学科3年

衰え失われつつあるものを「現代人の身体機能」と捉え、 踵の無い地下足袋のような作品『stamp』。「身体機能を 保つ正しい歩き方や正常な足の形を調べ、今の形ができ ました」という斉藤さん。踵が地につかないことで足の指 の力を使う必要があり、足本来の機能を守る作品です。



※写真は山形エコハウスのインテリアで、イメージです。

建築・環境デザイン学科×無印良品の家のコラボが実現。 まずは、住宅性能をはかる新しい「ものさし」づくりから。

木造であること、温熱性能を追求すること的な住まいを共同研究し、提案していきます。

など、これからの住宅のあり方に対する考え 芸工大が「山形エコハウス」の設計・建設 方に共通点が多かったことから、「無印良品 などで検証したデータやノウハウと「無印良 の家」と芸工大の「建築・環境デザイン学 品の家」の実績とネットワークを活かし、「エ 科チーム」のコラボレーションが実現。"未 コとは?」「快適性とは?」などを広くみなさ 来の家プロジェクト"として、これまで以上 んと一緒に考え、環境に配慮した住宅の性 に環境に配慮した持続的で、快適かつ健康 能を量る「ものさし」づくりから始めています。

第1回シンポジウム『わたしと地球にやさしい家』参加者募集中!

日時:1月21日(金) 18:30 - 20:30/会場: 外苑キャンパス(東京都港区北青山 1-7-15)/定員: 90名(※予約制、 先着順)/お問合せ:無印良品の家 MUJI 新宿 家センター(TEL: 03-3353-7752)/WEB よりお申込みください。 WEB:http://www.muji.net/ie/lifestyle/project_mirainoie/

※配送日の都合で本紙がお手元に届いた時点で満席となっている恐れがありますので、ご容赦願います。



地域から見える将来ビジョンが未来を開く!?

サスティナブルデザインの最先端、国際会議が山形で開催されます。

きる未来を描き出すことが期待されています。 れたイベントです。ぜひご参加ください。

議論のテーマが環境問題から文明、文化のサスティナブルデザイン研究の第一人者で 問題へと広がっている〈サステナブルデザイ ある植松豊行教授も「ものづくりと発展をど ン国際会議〉。これまで関東周辺で開催され う両立させていくか、という問いに解を得ら てきた国際会議が、今回は山形の芸工大で れる会議になるでしょう」と期待を滲ませて 開催されます。地域に育まれてきた文化、産います。多くの有識者が意見を交わす国際 業、暮らしの価値を再発見することで実現で 会議は、会議といいつつも広く皆さんに開か

『第5回サステナブルデザイン国際会議』参加者募集中!

●基調講演会 日時:2月26日(土) 9:30-18:00(9:00受付開始)/会場:東北芸術工科大学 本館3階 201講義 室/定員:300名(英日逐次・日英同時通訳)/要事前申込 ●分科会日時:2月27日(日)9:30-18:00(9:00受 付開始)/会場:東北芸術工科大学 本館3階 各議義室/定員:200名[50名×4室](涿次通訳)/要事前申込 お問合せ:エコデザイン研究所内 サステナブルデザイン国際会議事務局(TEL:03-6826-1511)/東北芸術工科 大学 デザイン哲学研究所 (TEL:023-627-2307) ● WEB:http://www.sustainabledesign.jp/



芸工大OG 🗶

教授

こだわり抜く強さに成長をみた、花屋さんでの再会。

学部4年、修士1・2年の3年間、竹内教授のもとで設計を学んだ渡部さんは、 教授の多才な活躍に憧れていた一人。卒業後、恩師のアドバイスを受けながら、 オーナーにも喜ばれる個性あふれるフラワーショップを実現させることができました。

たのは、大学院環境デザイン領域修 了生の渡部侑希さん。2008年に実 施された新しいフラワーショップの店 舗デザインコンペでグランプリを受 賞した渡部さんの提案「えんがわの ある花屋さん」が2年の時を経て実 現したのです。コンセプトはそのまま に、出店場所の立地や広さ、形状に された建築・環境デザイン学科の竹 に改めて対応を依頼しました。渡部 てくれました。相手の思いを聞いた上 の中、穏やかな時間となりました。

う偶然も味方して、勤務先の仕事に も支障なく設計監理を務めることが できました。生花店としては珍しい白 い内装や明るい木目の床、縁側に代 わる窓辺のテーブル席など、優しい 空間の花屋としてお客様からの評判 もよく、当初は渡部さんのこだわりに 押し切られた感じのオーナーも今で 内昌義教授は、卒業して仙台市内のは、もう少し押しの強さがほしいと思

2010年9月、仙台市長町にフラワー さんは是非自らの案を実現させたいと での押しの強さが私たちの仕事には ショップ『花創作・苺いちえ』がオー 快諾。心強い竹内教授のサポートと、 必要なんです。」と渡部さんの成長を プンしました。その店舗設計を担当し 出店場所が渡部さんの実家近くとい 実感した様子。「押しの弱さは、職場 でもよく言われていて、自分でもまだ まだだと思っています。雑誌などで竹 内先生の作品を見て、その凄さに圧 倒され、いろいろ相談したくなります」 と恩師の世界的な活躍に設計士とし て注目している渡部さん。設計事務 所にはそれぞれのやり方があるから 具体的なアドバイスはできないと言 合わせた調整をオーナーからお願い は大いに満足しています。その仕事 いつつ「何かあったらいつでも」とい ぶりを通して竹内先生は「学生時代 う竹内教授の言葉に表情をほころば せていました。美しい花に囲まれての 設計事務所に勤務している渡部さん っていましたが、今回は頑張りを見せ 久々の再会は、お店の優雅な雰囲気





上: 渡部さんが設計監理を担当したフラワーショップ 「花創作 苺いちえ」の店内。中央のテーブルは人が集う縁側的な空間 で、フラワー教室なども行われる。下: 竹内昌義教授が設計し た『Y150 はじまりの森』。 横浜みなとみらいで 2009 年に開催 された、横浜開港 150 周年記念事業 「開国博 Y150」 のパビリ オン。巨大アート、展示スペース、レストランや記念品ショップ 等からなる複合施設。

建築・環境デザイン学科

建築や住空間から、それを取り巻く 街や都市、自然や景観を学びます。 21世紀のライフスタイルを考えると き、人々の暮しや建築の設計やデザ インだけでなく、環境のことも併せて 考えなければなりません。それらを実 際のフィールドを通じて学ぶには、 山形の豊かな自然環境や伝統、都市 の規模は絶好のポジションです。



プロダクトデザイン学科

雑貨、家具、家電、自動車などの製 品、住宅や店舗などのインテリア、 公共空間やディスプレイまで、私た ちの生活を支え彩る、製品や空間を 創造するデザイナーを基礎から養成 します。素材の持つ可能性や、言葉 からの形態発想など、枠組みにとら われない実験的なデザイン探求の精 神を大切にしています。



6 PAGE

TUAD NEWS 32 **学年や所属は、発表・受賞時のものです。

目で見る芸工大「できこと」セレクション



自然と芸術との境目のない感動 古郡弘展「からぎ、かりどの」展

現代社会が失った自然への憧憬や畏怖を、私た ちの記憶の古層から呼び覚ます古郡弘「からぎ、 かりどの」展を2010年10月28日-11月24日に 開催。古郡氏は、王立ブレラアカデミーに留学 後、日本各地で泥、水、火など、古くから人間 が用いてきた素材による大規模な作品を発表す る彫刻家。展示では、彫刻コースの学生も授業 の一環として古郡氏の作品制作に関わったほか、 ワークショップ形式で自身の作品制作に取組み 併せて会場で発表。大学周辺の宅地造成によっ て失われた風景を彫刻化し、可視化することで、 かつて〈端山信仰〉によって結びついていた山 と村の関係を表現しました。

キュレーター: 宮本武典 講師、主任学芸員 WEB: http://www.tuad.ac.jp/museum/





デザセン2010決勝大会 有田工業高校が参加87校の頂点に

暮らしの中から高校生が課題を見つけ、社会をよ り良くするための解決策を提案する「デザセン」。 2010年10月31日に開催した「決勝大会」では、 過去最多の562チームから一次審査で選ばれた 10チームの高校生が提案を発表。優勝した有田 工業高等学校の提案は、「男も見守る携帯アプリ ウームメント。生まれる赤ちゃんの成長を携帯で 体感できるアプリのアイディアでした。

優勝(文部科学大臣賞):有田工業高等学校『男 も見守る携帯アプリ ウームメン』榎悠太、草場 卓人、杉野陽平チーム

準優勝:伊東高等学校城ヶ崎分校『まくら投げの すすめ」山下摩琴、野口香菜、稲葉古都チーム 第三位:北海道札幌平岸高等学校『ネガポ辞 典」蠣崎明香莉、高嶋結菜、萩野絢子チーム WEB: http://www.tuad.ac.jp/hidechamp/



鉄による無機質な表現で gallery COEXIST グランプリ受賞

大学院彫刻領域修了生の元木孝美さんが、 galleryCOEXIST のコンペティションにてグラ ンプリを受賞し、個展「TAKAMI MOTOKI: Beyond the other side」を2010年10月12 日-31日に開催。元木さんの独特の世界観で、 日常的に何気なく見かけるものを、単純化し無機 質な鉄に置き換え、普段の生活の中に潜むミニ マルな風景を表現しました。

WEB: http://coexist-art.com/



依頼受けた慶応年間の絵馬修復を完了 余目八幡神社への奉納済ます

文化財保存修復研究センターでは余目八幡神社 (庄内町) の依頼を受け、慶應四年に奉納された 絵馬「安保秋山の討合い図」の修復を2010年 7月上旬から半田正博同センター教授と大山龍顕 研究員を中心に進めてきました。その修復が終 わり11月30日に余目八幡神社へ奉納しました。 作品名: 余目八幡神社絵馬「安保秋山の討合い図」 作者:源義成

寸法: 縦 155.0× 横 200.0cm 所蔵: 余目八幡神社 (山形県東田川郡庄内町余目字町)

「JIA 東北建築学生賞」で ダブル受賞。魅力ある空間 提案で優秀賞と奨励賞

東北の建築系の大学や短大などからの課題作品 の中から、建築家が審査員となって評価を行う JIA 東北建築学生賞。2010年10月15日にせん だいメディアテークで公開審査が行われ、建築・ 環境デザイン学科3年の石原由梨さん提案の、 外部環境を取り込み多様な性質の場所を作り出 す「気持ちをたどる図書館」が優秀賞を受賞。ま た、同学科3年の安藤理恵さん提案の「Show Window House | が奨励賞(東北専門新聞連 盟賞)を受賞しました。

主催: 社団法人日本建築家協会東北支部 WEB: http://www.jia-tohoku.org/



有効活用めざし、「やまがた藝術学舎」 元県知事公舎・公館を一般公開

2010年6月に本学が取得した元山形県知事公 舎・公館(山形市松見町)を、「やまがた藝術学 舎」として運用するにあたり、改修前の一般公開 を2010年12月13日-19日に開催。7日間の会 期中、延べ3,200名を越える方にお越しいただき、 多数のご意見をいただきました。今後、一般の 方を含む「トーキングカフェ」などを通じて活動 案を策定し、2011年4月のオープンを目指します。

> 「学生ボランティア団体」 助成に採択され、 さらなる活躍に期待

チュートリアル「DOING SOCIOLOGY」では、 これまで「やながわ自然ファクトリー」など、数々 のプロジェクトやワークショップの企画運営を行 ってきました。その活動が認められ、平成22年 度「学生ボランティア団体」助成に採択され、助 成金を取得。下記にて、表彰式が開催されます。 採択団体: DOING SOCIOLOGY 代表者名:日高啓七(芸術学部) 推薦教員:片桐隆嗣(チュートリアル担当)

表彰式日時:1月25日(火)15:00-17:00



日本画コースの亀岡副手が入選 若手作家の登竜門「シェル美術賞展2010」

1956年創設で、次世代を担う若手現代美術作家 にとっての登竜門と位置づけられている公募展 「シェル美術賞展」に、大学院日本画領域修了生 で、日本画コース副手の亀岡里美さんが入選。 代官山ヒルサイドフォーラムで2010年11月20日 -28日に開催された受賞展に出品しました。

美術科の水上修准教授が 東日本伝統工芸展 第50回記念展に入選

水上修美術科准教授が、日本工芸の真価をみつ め、21世紀の伝統工芸の展望をさぐる東日本伝 統工芸展第50回記念展「21世紀の伝統工芸― 世界の眼 | に入選し、2010年12月5日-24日 にMOA美術館で開かれた展覧会に出品しました。



第6回世界絵画大賞展2010展で 山口裕子さん、審査員賞受賞の栄誉

第6回世界絵画大賞展2010で、大学院日本画 領域1年の山口裕子さんの作品「それはひみつ」 が、応募総数638点から審査員遠藤彰子賞を受 賞。世界堂新宿本店で2010年10月24日-11 月3日に開催された入選作品展に出品しました。 WEB: http://www.sekaido.co.ip/

山形ふるさと CM 大賞で 南陽市の魅力を 鮮烈アピールし大賞受賞

15秒で地元の魅力やイメージをアピールする手 作り CM の祭典「YTS 山形ふるさと CM 大賞」。 映像計画コースの4年生選抜チームと南陽市が 作成した CM「幸せを呼ぶ3羽のうさぎ篇」(15 秒)が大賞を受賞しました。また、大学院修了 生の佐藤恒平さんも朝日町の CM 制作総指揮を 務め、特別演出賞を受賞しました。

芸術に親しむショップ& ギャラリー『art_izm』を 現役大学生がオープン

より多くの方が芸術に興味を持ってほしいという 想いで、日本画コース3年の岩本淳司さんが、ア ート展示と販売を行うアートショップ兼ギャラリ - を山形市内にオープンしました。若手作家の作 品に実際に触れて購入できるというコンセプトの もと、様々な企画を発信しています。 開廊日時:土・日曜日 12:00-17:00 WEB: http://art-izm.web.wox.cc/



松島の紅葉 円通院の庭園が 音と光の演出で幻想的な芸術空間に

秋の松島名物となっている円通院(宮城県松島 町)の「松島紅葉ライトアップ」が2010年10 月30日-11月28日に開催されました。庭園空間 のライトアップは、コーディネートを大学院仙台 スクール1年の渡邉英さんが担当。また、西澤高 男 プロダクトデザイン学科准教授がインスタレ ーションを制作し、音楽と同期した光が幻想的に 変容する空間芸術を創出しました。 主催:とっておき松島実行委員会



中山ダイスケ教授が 伝統校の新たなスタートをデザイン

平成23年度に創立50周年を迎える蔵王高等学 校は「山形明正高等学校」へと校名を改称します。 それに伴う新しい校章やロゴマークの制作依頼を 大学が請け、中山ダイスケ グラフィックデザイ ン学科教授がデザインを担当し発表しました。ま た、従来のスクールカラーを活かした校舎などの 配角展開も提案しました。

また中山教授は、個展「Ornaments」を児玉 画廊(東京)にて2010年11月6日-12月8日に 開催。「飾り」をキーワードに日本の価値観や環 境を可視化した作品群が、肯定的に捉えられる かを試みた展覧会となりました。

WEB: http://www.daisukenakayama.com/

第78回独立展で多数 入選し、国立新美術館での入選作品展に出品 入選作品展に出品

独立美術協会が主催する第78回独立展に、洋 画コースや大学院洋画領域の学生、卒業生が多 数入選。国立新美術館で2010年10月13日-25日に入選作品展が開催されました。

入選:伊東千紘(学部1年)/原田聖(院2年) /小野田拓真(院1年)/羽賀文佳(院1年) /高松和樹(卒業生)/本田崇(卒業生)/坂 内哲郎(卒業生)/棚澤寛(卒業生) 主催:独立美術協会

WEB: http://www.dokuritsuten.com/



クマ出没問題を受けての開催 公開講座「今、なぜケモノは里に…」

昨年多発した居住地域へのクマ出没問題を受け、 獣たちの出没理由や被害要因を考える公開講座 「今、なぜケモノは里に下りるのか」を2010年 11月10日に東北文化研究センター主催で開催。 田口洋美 歴史遺産学科教授と、蛯原一平 東北 文化研究センター研究員を講師に、「野生動物に よる被害問題と動物保護の観点をどう考えるかし などについて議論。学生や市民の方など200名 の方にご来場いただき、野生動物との共生や里 山保全などを考える機会となりました。



広州2010アジアパラ競技大会出場で 粟野幸智恵さん、銀メダル獲得

プロダクトデザイン学科4年の粟野幸智恵さんが、 2010年12月12日-19日の8日間、中国・広州 市で41か国・地域から5,000名の参加者を集め て開催された「広州2010アジアパラ競技大会」 のシッティングバレーボール競技日本代表選手と して出場しました。これを受けて、11月19日に学 長奨励賞を受賞。併せて、山形県と山形県障害 者スポーツ協会から奨励金が授与されました。そ して出場の結果、見事に銀メダルを獲得し、ロン ドンパラリンピックへの出場切符を手にしました。

洋画学生の活躍に 目を見張る第64回二紀展で 奨励賞の受賞、入選

社団法人二紀会が主催する第64回二紀展に 洋画コースや大学院洋画領域の学生、卒業生が 多数入選。洋画コース4年生の武田恵子さんと、 洋画コース卒業生の渡辺まりさんが奨励賞を受 賞し、国立新美術館で2010年10月13日-25日 に開催された入選作品展に出品されました。

◎奨励賞:武田恵子(学部4年)/渡辺まり(卒業生) ○入選:阿部一樹(学部4年)/菊地麻緒(学部 4年) /白石博子(学部4年) /小野寺裕(学部 3年) /村上結郁(学部3年) / 斉藤美香(学部 3年)/布田優(学部3年)/高橋克幸(学部2年) /佐藤未希(院2年)/田中康祐(院2年)/原 田圭 (院1年)/市川弘充 (院1年)/齋藤ナオ (卒 業生)/宮野春香(卒業生)/藤澤朋広(修了生) / 芳賀一彰(修了生)/小田志保(修了生、副手) 主催:社団法人二紀会



未来へ届け、サスティナブルデザイン アイデアコンペ2010最終審査を開催

第3回サスティナブルデザインアイデアコンペの 最終審査を2010年11月27日に開催し、全国の 応募の中から選出された11提案の公開発表を行 いました。最優秀賞は、杉山由香さん提案の 「みどりの波と、まなぶ船」。集合住宅地でのコミ ュニティ形成を促進する小学校の提案です。 ◎最優秀賞:杉山由香「みどりの波と、まなぶ船」 東京電機大学

◎優秀賞:尾形航「畳プロダクトの開発」東北芸術 工科大学、菊地未来/中澤敬史/権平一秀「ちょ い傘」関東学院大学、太田晋玄「The First Potty Omaru」東北芸術工科大学

学生 CG コンテストで2名受賞

映像、インタラクティブ ART 界における主要学 生コンテストである「第16回学生 CG コンテス ト」。合計1,221作品の応募の中から、映像コー ス 4年の上野雅志さんが「静止画部門」で、大 学院修了生の田中健二さんが「動画部門」でそ れぞれエンターテイメント賞を受賞しました。受 賞作品展は、文化庁メディア芸術祭の協賛事業 として下記会場にて同時開催されます。 第16回学生 CG コンテスト 受賞作品展概要 会期:2月2日(水)-13日(日) 会場:国立新美術館



「山形の家づくり大賞コンペ」で 在学生や卒業生が大賞などを多数受賞

川形の気候風土を活かした住まいや川形の森

林・林業などの地場産業の振興を目的とした「山 形の家づくり大賞コンペ」の第一部企画設計提 案部門で、建築・環境デザイン学科3年の阿部 しおりさん提案の「風に身をまかせて」と、藤田 真衣さん提案の「風を取り入れた心地いい住ま い」が入選。また第三部一般住宅部門では、同 学科卒業生で豊橋技術科学大学助手の渋谷達 郎さんが、「大賞」および「県知事賞」を受賞し ました。なお、渋谷さんは別の設計建築で2010 年度グッドデザイン賞も受賞しています。



懐かしい東北の記録と記憶の企画写真展 「東北あるく・みる・きく」を開催

2010年11月29日-12月4日に、図書館2Fスタ ジオ144にて東北文化研究センターの「東北地 方における生業・環境・技術に関する歴史動態的 総合研究」の研究公開の一環として、学生調査 チームによる企画写真展「東北あるく・みる・き く」を開催しました。これまで学生が東北の農山 村漁村の集落9箇所を訪ね、人々の生活の現場 に実際に入り、調査・体験した4年間の記録映像 や写真を展示したもの。会場へは、約900人の 方が来場し、多くの反響をお寄せいただきました。



賑やかな和太鼓演奏で盛り上がった 太惠十周年記念-冬公演

和太鼓研究会「太悳」が、10周年の締めくくり として、また太悳が歩んでいくこれからの新たな 原点として2010年12月4日に「冬公演」を開催。 学生と教職員、太惠が指導を行っている公開講 座の受講生など、子どもから大人まで、これまで 関わったみなさんと賑やかに演奏しました。 出演:太悳/太悳学生組 ほか 演目:遊山/実り/三宅/ことはじめ ほか



『第34回日本アカデミー賞』優秀脚本賞 加藤正人映像学科教授の快挙

2010年6月5日より公開となった医療ヒューマン ドラマの傑作『孤高のメス』の脚本を担当され た加藤正人映像学科教授が、日本映画界最大の 祭典『第34回日本アカデミー賞』で優秀脚本賞 を受賞しました。



第37回創画展に多数入選 存在感示した日本画の学生、卒業生たち

昭和23年の発足以来、幅広い世代の作家が個 性豊かに現代日本画の創造を行う創画会に日本 画コースの在学生や卒業生が入選し、京都市美 術館(11月2日-14日)、上野の森美術館(12 月8日-14日)、愛知県美術館(12月21日-26 日)での巡回展に出品されました。

入選:田口緒里砂(院2年・写真)/柿崎彩美 (卒業生)/一ノ瀬絹子(修了生、日本画副手)



真冬を彩る、山形駅前大通り商店街 クリスマスイルミネーションを制作

山形駅前タクシーロータリーのクリスマスイルミ ネーションを工芸コースの有志の学生3人が制作 し、展示しました。光を用いた立体作品を制作・ 展示する「Lighting Object 展」で実績がある ため、山形駅前大通り商店街振興組合からの依 頼を受けて制作したもの。3案の中から、武藤元 与さんの客を採用し、2010年11月19日に完成 披露会と点灯式が開催されました。 制作(共に3年):武藤元気/鳥飼恵理子/志

水ゆめか 指導教員:小林泰彦 美術科教授



将来を嘱望される若手作家を支援 国際瀧富士美術賞第31期奨学生決定

将来を担う若手芸術家を育成する奨学金制度 「国際瀧冨士美術賞」(財団法人日本交通文化協 会)の第31期奨学生に、洋画コース4年の藤原 泰佑さんが選ばれ、財団から奨学金が授与され ました。

推薦者:鴻崎正武美術科講師



卒業生が手掛けた石の彫刻、 金山町「風の丘公園」で朝日を仰ぐ

「風の丘公園」の愛称で親しまれている金山町の 大清水川河川公園に、大学院彫刻領域修了生の 藤沢恵さんの卒業作品「生命体としての形・暁」 (2009年制作)が新設され、2010年11月21日に 除幕式が行われました。作品は、一塊で3トンの 「伊達冠石 | を藤沢さん自らが2つに割ったもので、 石と石の間からは朝日を見ることができます。



7 PAGE

Q

S

展示や対談、実演で多彩に構成された 「東北画は可能か?其ノ四ー青森編ー」

蔵王山麓の気候風土の中で何をつくることがで きるのか。在学生や卒業生、教員が様々な議論 と作品発表を重ねてきたチュートリアル「東北画 は可能か?」では、「其ノ四-青森編-」展を 2010年11月20日-12月19日にC-Lounge (青 森県十和田市)で開催しました。会場には、絵 画やドローイング、立体作品などが展示されたほ か、初日には、三瀬夏之介美術科准教授と鴻崎 正武美術科講師による対談や、学生によるダン スパフォーマンスなども実演しました。 ダンス:橋本匡史 (洋画4年)/菅井月美 (洋画3年) 演奏:大城龍馬(日本画1年)/中塩健吾(映 像1年)/鴻崎正武(講師)/サイトウケイス ケ(総合美術副手)

「東京企画構想学舎 高松聡学科」が会社設立、 → より実践的で独創的講座に

WEB: http://www.touhokuga.org/

「東京企画構想学舎」は第一線のクリエイターを 講師に迎え、「企画のしかけ人」の輩出を目指し ています。その中の一つの実践型講座 高松聡学 科では、企画を生み、それを構想・実現させる方 法を実践的に学ぶために、講師の高聡氏と受講 生の双方が出資をし、株式会社を設立。受講者 が株主となりつつ企画案件をこなしていくことで、 独創的な形式での講座を展開していきます。 WEB: http://www.tuad.ac.jp/plusart.

個性あふれる3名が出展 山形の若手アーティスト展 「わかてん」

山形県白鷹町などに在住する4人の若手アーティ ストの展覧会を、白鷹町文化交流センター AYu:M(あゆーむ)で2010年11月16日-12月 26日に開催。本学からは、大学院彫刻領域1年 の石川霞さん、大学院実験芸術領域1年の近藤 亜樹さん、洋画コース卒業生の黒田初美さんの3 名が出品。彫刻、版画やインスタレーションなど、 異なる素材と手法での多彩な展示となりました。 主催:白鷹町文化交流センター事業企画委員会 WEB:http://www.ayu-m.jp



学生賞受賞。同時期に SEED は展覧会

本紙4ページでも紹介していますが、2010年10 月29日-11月3日に明治神宮外苑で開催された 「東京デザイナーズウィーク」へ出展。34の参加 校の中から本学の出展ブースが「学校賞」に、「学 生賞」には、プロダクトデザイン学科3年生西條 航さんの「スナバタ」と同学科研究生坂西亮さ んの「wasted wood」の2名が選ばれました。 WEB: http://www.tdwa.com/exhibition/ また同期間中、国内外での作品発表を積極的に 進めるために結成した大学院プロダクトデザイン 領域の学生7人によるデザインユニット「SEED」 が、セピア絵画館(南青山)にて展覧会を開催 (写真)。玩具、照明器具、家具や小物、アート 作品など新作10点を展示しました。 WEB:http://www.seed-design-unit.org/

2011 WINTER VOL.16

芸工大】*/YOU g*g VOL.16

OPEN GALLERY

生涯学習プログラム 公開レポート②



左:スケッチブックを見開きで使い、山の上に広がる空を描くことをアドバイスする松本学長。 右:自然の美しさに感嘆の声をあげた後は、思い思いの場所でスケッチブックを広げます。仙台、新庄、岩手からの参加者も。

月山の自然を描く ~松本哲男学長とめぐる写生会~(アートキャンプ)

多彩な講師陣で日常の生活にアートを吹き込む、芸工大の生涯学習プログラム。 今回は、日本画家である松本学長が講師を務めた学修旅行をご紹介します。

何気ない日常の風景の中に四季の移ろいを 感じることができる、自然豊かな山形。本 講座「月山の自然を描く」では、西川町志津 温泉を拠点に、中山町の大イチョウ、左沢 の楯山公園、最上川などを巡り美しい景観 をスケッチ。日本画家である松本学長が、 五感を使って対象をとらえることや、自然を 描く時のポイントを丁寧に指導します。

深秋の月山山麓は、色鮮やかな紅葉と初雪 が輝く絶妙な景観と、月山、姥ヶ岳、湯殿山、 南側に朝日連峰を望む絶好のロケーション です。受講者は志津温泉に2泊3日の間滞 在し、思う存分に美しい自然をスケッチブッ クに描き出していきます。地蔵沼や五色沼、 黄金色に輝くブナ林を目にして「美しい景 色に命が洗われる想いです」と、ため息を もらす受講者も。

松本学長は、一人ひとりに声をかけ、刻一 刻と変化し続ける自然に感動すること、音 や匂いまで写しとることを呼びかけます。

を描いた受講者には、「もったいない!」と スケッチブックを見開きにして山々を包む大 きな空を描くことを提案。「雲の線だけでい いから描いてごらんなさい。自分の絵じゃ ないみたいになるから」と、冗談を交えなが ら生きた絵を描く楽しさを伝えます。「キレ イにお絵描きをする必要はないんです。ど んどん欲張って、メモを取るように沢山描 いてください」という松本学長の言葉に、 触発されるように鉛筆を走らせていました。 今回は、温泉宿で学長を囲んでの講評会や 講師と参加者同士の親交を深める時間も設 けられ、充実した2泊3日の講座となりました。 受講者からは「定期的に芸工大に通う講座 以外に、自分の時間に合わせてプログラム を選べるのが嬉しい」という声も寄せられ ました。自然に抱かれ、週末のまとまった時 間を全てアートに充てる短期集中型の講座 は、受講者たちにも好評です。



「初雪と紅葉が一緒に見られるなんて、すばらしい "ごちそう"」と語り、指導する番場准教授。



鉛筆を走らせた後は、今ある自然の色彩を写すよう に、すぐに着色を始めた受講者の田口さん。



「年を重ねるに従って、五感を使うことを忘れてしまいがちです。とにかく 素晴らしさがあります」松本哲男[学長、美術科教授]



「松本学長にお会いできる、貴重な機会だと思い受講しました。若い時に 絵を描いていましたが、グラフィックデザインの仕事に就いてからは仕事 のためのデザインばかりやっていました。これからは、自分のために絵を描



2011年度受講生の募集は、2月中旬スタート予定です。

芸工大の生涯学習プログラムでは、みなさ んの「日常の暮らし: Life」を中心に、「+ ART」「+ DESIGN」「+ SLOW」という3 つのプラスをテーマに設定し、学びの場を ご提案しています。第一線で活躍するア-ティストやデザイナー、作家、研究者が名を 連ねる芸工大の教授陣が、その道の技術 や理論に、深みのある文化や情報を加えて 開講。暮らしやお仕事を、より豊かで実りあ るものにするきっかけ作りになるはずです。

皆さんの暮らしや興味の度合いに合わせて、 学びの入口は幅広く設定しています。講座 は数日だけの短期集中のものから、学修旅 行型、週末や平日の夜間を利用した連続し た実技講座など、内容や時間もさまざま。 芸工大ならではの資格取得講座もご準備 しています。また、じっくり15週間をかけて 大学の正規授業を学びたいという方向けの、 セルフビルド型という選択肢も。

ただ今、2011年度開講分の資料請求を受

け付けております。すでに資料請求をいた だいている方へは、2011年度版パンフレッ トが完成次第お送りいたします。お問合せ は下記窓口までお気軽に。

東北芸術工科大学 生涯学習プログラム担当 TEL: 0120-25-8160(受付:月~金9:00-18:00 ※ 土日祝休み) FAX: 0120-41-2154 E-mail: exte @ aga.tuad.ac.jp

WEB: http://www.tuad.ac.jp/plusart/

OPEN GALLERY

EVENT SCHEDULE WEB

1/11-2/28

求ム、創造の天才。

企画構想学科長の小山薫堂教授が審査員を務める、 腕時計ブランドのフランク・ミュラーによるア トコンペが開催中です。詳しくは下記 HP にて。 『フランク・ミュラー「時の哲学」』 募集期間:1月11日(火)-2月28日(月) WEB: http://crazy-artist.com/

1/15-3/21

彫刻と里山の美しいコラボレーション 大学院彫刻領域修了生の菅原隆彦さんが、茨城県 桜川市の各地で開催される雨引の里と彫刻 2011 展に出品します。

『雨引の里と彫刻2011』

TEL: 080-6545-6507

会期:1月15日(土)-3月21日(月)9:00-17:00 会場:茨城県桜川市

1/16-23

素材が刺激する感性をご覧ください

工芸コース(金工・漆芸・陶芸)とテキスタイルコー スの2年生35名は、専攻する素材に触れながら、 一歩ずつ歩み始めています。今回の展示では、一 年間の学びの成果としての課題作品を展示します。 『工芸コース・テキスタイルコース2年生展』 会期:1月16日(日)-23日(日)10:00-17:00

会場: 悠創館(山形市上桜田366)

1/22

地方でクリエイティブに働く事を考える 2月に開催される国際会議のプレイベントとして、 現 映像学科卒業生の鹿野さんも参加した、トーク イベントが開催されます。

『地方でクリエイティブに働く・生きる一生活圏 の重なりが作るローカリティー仙台の事例』 日時: 1月22日(土) 14:30-17:00 会場:東京ミッドタウン デザインハブ スピーカー:logue、鹿野護 (WOW アートディレ クター)、小川直人(せんだいメディアテーク)

参加費: 2,000円(定員70名、要事前申込)

1/22,23

紅花の魅力再発見。初水で紅花染体験を

テキスタイルコース企画のシンポジウム・ワーク ショップ「紅花ルネサンス vol.3」を開催します。 22日(土)には、本学敷地内の染料博物館(畑)にて 〈種〉より収穫した紅花の「紅餅」を使用して、紅 花染を行います。また23日(日)には、研究家を招 いての講演・シンポジウムを開催いたします。

『紅花ルネサンス vol.3 山形→続・月』

〈ワークショップ「寒中・初水での紅花染」〉 日時:1月22日(土) 13:00-16:00

会場:本館前正面広場

内容: 学生が栽培・収穫した紅花の「紅餅」を使用 しての紅花染

〈シンポジウム〉

日時:1月23日(日) 13:00-16:00 会場: こども芸術教育研究センターこども劇場 内容:講演、学生活動報告、ディスカッション



2/26,27

未来を担う国際会議を山形で

サスティナブルな社会づくりを目的とし開催され る国際会議が、今年はローカル・サスティナブル・ コミュニティをテーマに芸工大で開催されます。 詳しくは本紙4ページをご覧ください。

『第5回サステナブルデザイン国際会議』 〈基調講演会〉

日時:2月26日(土) 9:30-18:00 (9:00受付開始) 会場:本館3階 201講義室(要事前申込)

日時:2月27日(日) 9:30-18:00 (9:00受付開始) 会場:本館3階各講義室(要事前申込) お問合せ: サステナブルデザイン国際会議事務局 TEL 03-6826-1511/東北芸術工科大学 デザイン 哲学研究所 TEL 023-627-2307

WEB: http://www.sustainabledesign.jp/

在学生、卒業生の皆さんへ

7名の作家からの発信

2/26-3/27

「けしきをいきる」をテーマとした板橋区立美術館 でのグループ展に、映像学科の屋代敏博准教授が 出品します。会期中はギャラリートーク、作家と 一緒のワークショップ、区内の小学生を招いた鑑 賞教室なども開催されます。

『発信 // 板橋 //2011』

会期:2月26日(土)-3月27日(日) 会場・主催: 板橋区立美術館(板橋区赤塚5-34-27) 観覧料:一般300円、高大生100円、小中生無料

3/5-10

山形に集った個性。学生たちの集大成 2010年度卒展の出品作品のうち、美術科各コース の選抜された作品による卒業・修了展 [東京展]を 3月に開催します。各地から自然豊かな山形に集 い、多感な時間を真摯に自己発見の創作活動に励 んだ学生の熱い息づかいを、東京にて感じていた だけるはずです。

『東北芸術工科大学 卒業・修了展[東京展]』

出展コース:日本画・洋画・版画・彫刻・工芸[陶 芸/漆芸/金工]・テキスタイル

会期:3月5日(土)-10日(木) 10:00-18:00 会場: 外苑キャンパス (〒 107-0061 東京都港区

入場料:無料

オープニングイベント: 3月5日(土) 14:30-19:00 お問合せ: 外苑キャンパス TEL 03-5412-6111



3/21

東北芸術工科大学の広報誌「g*g」では、イベントなどの告知や公募展などでの受賞情報をお

待ちしております。東北芸術工科大学広報室へお気軽にご連絡ください。

若き才能、旅立ちの日。卒業式・修了式

平成 22 年度 東北芸術工科大学 卒業式・修了式を 以下の通り執り行います。式終了後、本館の教室 で各学科・学系・コース等の学位記授与を行います。

『平成22年度卒業式・修了式』

日時:3月21日(月)

受付開始: 10:00 (開式 10:30-) (予定) 会場:東北芸術工科大学体育館 ※当日、大学駐車場は大変混みあいますので、で

きるだけ公共交通機関をご利用ください。



4/10

今年も新たな顔ぶれがそろう入学式

平成23年度 東北芸術工科大学大学院・東北芸術 工科大学入学式を以下の通り執り行います。

『平成23年度入学式』 日時:4月10日(日)

開場:9:30(開式10:30-) 会場:東北芸術工科大学体育館



※ここに掲載している写真は昨年度のものです。日程や内容は 変更になる場合がありますので、HPなどで事前にご確認願います。

WELCOME TO TUAD

開かれた芸工大への扉

未来へ枝葉を伸ばす「TREE」。 2010年度卒業/修了研究・制作展

芸工大の様々な学部、学科、コース 強く繋がり、世界へ向けて勢いよく枝 で学ぶ学生たちが、分野を超えて-丸となり、これまでの集大成としての 作品や研究発表を行う〈卒業/修了 研究・制作展〉を今年も開催します。 **2010**年度のテーマは『TREE』。山形 の豊かな風土に根付いた本学を1本 の『TREE』とし、そこに集った学生た ちの個性豊かな才能、特色ある学び の成果を一枚一枚の葉に見立ててい ます。自身の卒業制作としてポスター やフライヤーのデザインを担当したの は、松原沙希さん。今はまだ小さな存 在である木の葉たちが、太い幹に力

葉を広げる姿が表現されています。「い ろんな色の個性を持つ学生のみんな が、葉となり、枝となり、細胞となって 芸工大という大きな『TREE』を構築 するイメージを表現しました。カラフ ルで元気で楽しい卒展になりますよ うに!」という願いを込めて学生一人 ひとりの姿を『TREE』を形作るカラフ ルなセルとして表し、卒業/修了研 究・制作展を盛り上げています。未 来へ向かい、様々な分野で枝葉を伸 ばしていく『TREE』を、どうぞ会場に お越しになって体感してください。



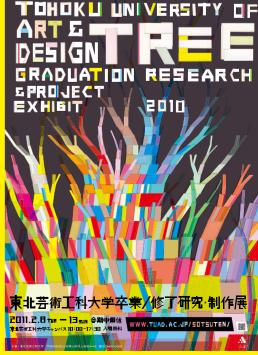
<mark>イベント情報もりだくさん!! 山形駅と大学</mark> を結ぶシャトルバスも運行予定です。最新 情報は公式 HP をご覧ください。 http://www.tuad.ac.jp/sotsuten/



画家画 左の QR コードから ケータイでも ご覧いただけます。

『2010年度 東北芸術工科大学卒業/修了

会期:2月8日(火)-13日(日)(会期中無休) 会場:東北芸術工科大学キャンパス 時間: 10:00-17:30 入場無料 主催・お問合せ:東北芸術工科大学 〒990-9530 山形県山形市上桜田3-4-5 TEL 023-627-2000 FAX 023-627-2185 E-mail public@aga.tuad.ac.jp



色鮮やかなグラフィックが目を引く、今年のポスター。